

## 観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和5年7月26日

## 1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 該当するものを○ で囲むこと	広域連携DMO・ <span style="border: 1px solid black;">地域連携DMO</span> ・地域DMO	
観光地域づくり法人 の名称	公益社団法人 三重県観光連盟	
マーケティング・マ ネジメント対象とす る区域	区域を構成する地方公共団体名 三重県全域(29市町)	
所在地	三重県津市	
設立時期	昭和25年6月26日	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	9人【常勤8人(正職員2人・出向等6人) 非常勤1人】	
代表者(トップ人 材：法人の取組につ いて対外的に最終的 に責任を負う者)	竹谷 賢一 (出身組織名) 三重交通株式会社	令和2年6月に三重県観光連盟会長へ就任。三重 県経済界との強いパイプを活かし、三重県の観光 振興に取り組んでいる。
DMO運営総括責任 者	山岡 克樹「専従」 (出身組織名) 三重交通株式会社	運輸、旅行会社、ホテル経営等を通じて伊勢志摩 エリアを中心に県内の観光業界に精通し、令和4 年6月から三重県観光連盟の専務理事兼事務局長 として観光関係者との折衝・調整に当たってい る。総合旅行業務取扱管理者資格取得。
データ収集・分析等 の専門人材(CM O：チーフ・マーケ ティング・オフィサ ー)	金丸 幸穂「専従」 (出身組織名) 三重県	令和5年4月より三重県観光連盟に出向し、デー タ分析及びマーケティングに取り組んでいる。
財務責任者 (CFO：チーフ・ フィナンシャル・オ フィサー)	西村 恵子「専従」	35年間、三重県観光連盟に勤務し、主に財務を担 当してきた。公益法人制度に精通し、県内DMO の相談役となっている。
プロモーションの責 任者(専門人材)	大倉 大樹「専従」 (出身組織名) 三重県	平成29年度から4年間、三重県観光部でプロモー ションを担当。さまざまなメディア、インフルエ ンサーとのタイアップを行う。令和3年4月より 三重県観光連盟に出向。

<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>三重県 観光部観光総務課（観光政策全般） 観光部観光戦略課（統計・分析、計画） 観光部観光振興課（観光資源磨き上げ） 観光部観光誘客推進課（国内誘客全般） 観光部海外誘客課（海外誘客全般） 雇用経済部（企業振興、三重テラス、関西事務所、伝統産業振興、食の産業振興等） 地域連携部（公共交通利用促進） 南部地域活性化局（県南部地域振興） 教育委員会（文化財活用、人材育成等） 農林水産部（農林水産資源活用、自然体験、農泊等） 環境生活部（歴史・文化資源活用等） 医療保健部（旅館業法、民泊、健康増進等） 県土整備部（道路河川整備等） 防災対策部（防災情報提供等） 県内市町観光担当課（観光情報提供・観光イベント・国内外プロモーション）</p>
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>県内市町観光協会（観光情報提供・観光イベント・国内外プロモーション） 近畿日本鉄道、JR 東海、JR 西日本、三重交通等の県内交通事業者（交通アクセス情報提供・周遊移動支援） 県内観光施設（観光情報提供） 県内宿泊施設（宿泊情報提供） 県内旅行会社（旅行商品販売） 県内外メディア、広告代理店（観光情報発信）</p>
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する登録要件】、 行政、交通関係者が理事に就任し、行政、交通、農業、文化、スポーツ関係者等が委員会の委員に就任し参画、意思決定を行っている。 ・行政、観光事業者、地域 DMO 等との情報交換・意見交換のため地域懇談会を開催している。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>（地域連携 DMO のため、記入不要）</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>（活動の概要） 本連盟は、三重県内における観光事業の健全な発達と振興並びに地域の活性化を図り、併せて健全な観光旅行の普及発達と国際観光の振興を促進し、もって県民生活、文化及び経済の向上発展に寄与するとともに、国際親善に寄与することを目的とし、次に掲げる事業を実施している。 ・観光情報の収集発信 ・誘致拡大のための広報宣伝 ・観光産業及び観光文化の振興 ・観光基盤整備 ・外客誘致促進</p> <p>（定量的な評価） 令和 4 年度実績 ・公式サイトページビュー数：2,690 万 PV ・公式 SNS（Facebook、Twitter、Instagram、LINE、TikTok）フォロワー数：194 千人 ・メールマガジン購読者数：28 千人 ・観光案内件数：2,106 件 ・観光情報紙「観光三重」作成部数：年 4 回 総部数 81 万部</p>

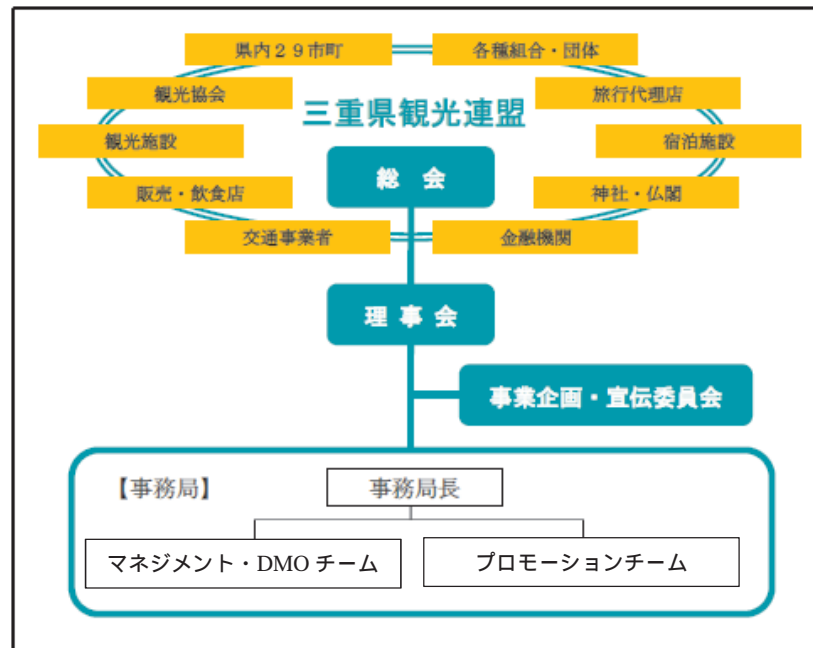
実施体制

地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）

（実施体制の概要）

三重県観光連盟が母体となり、構成メンバーには、当連盟の会員である行政（県内 29 市町）、観光協会、宿泊施設、観光施設、販売・飲食店のみならず、交通事業者、各種組合・団体（JA グループ三重、三重県文化振興事業団、三重県物産振興会等）神社・仏閣、金融機関など多様な関係者が参画し、官民が密接に連携した運営を実施する。

（実施体制図）



## 2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域

### 【区域の範囲が分かる図表を挿入】

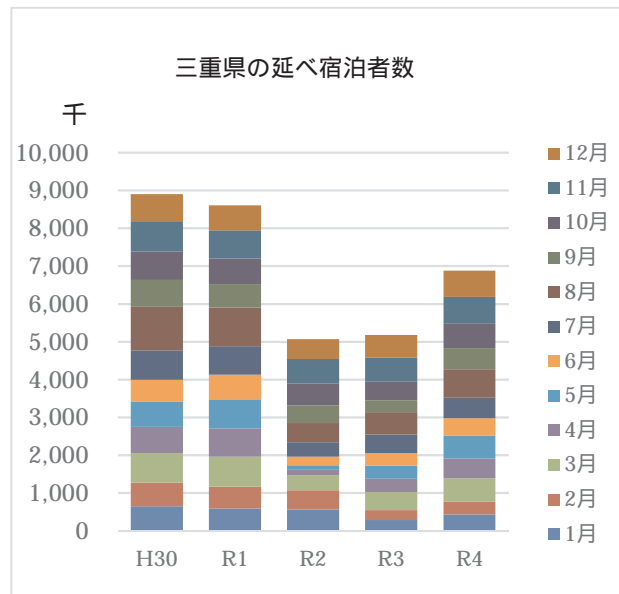
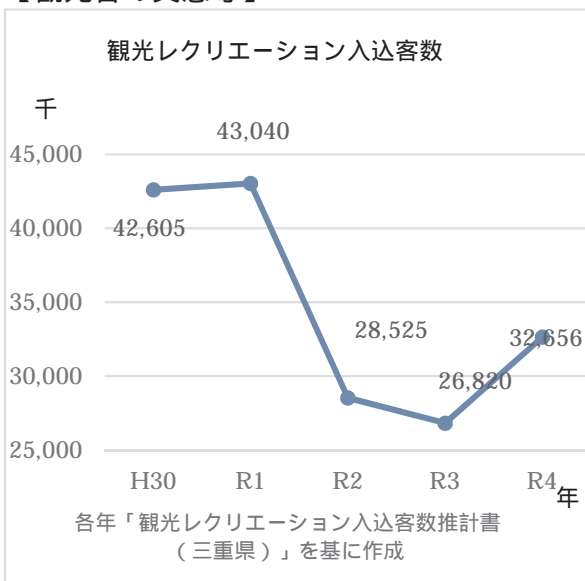


地域名 (市町数)	市町名
北勢(10)	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
中南勢(6)	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、大紀町
伊勢志摩(6)	伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、度会町、玉城町
伊賀(2)	伊賀市、名張市
東紀州(5)	尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

### 【区域設定の考え方】

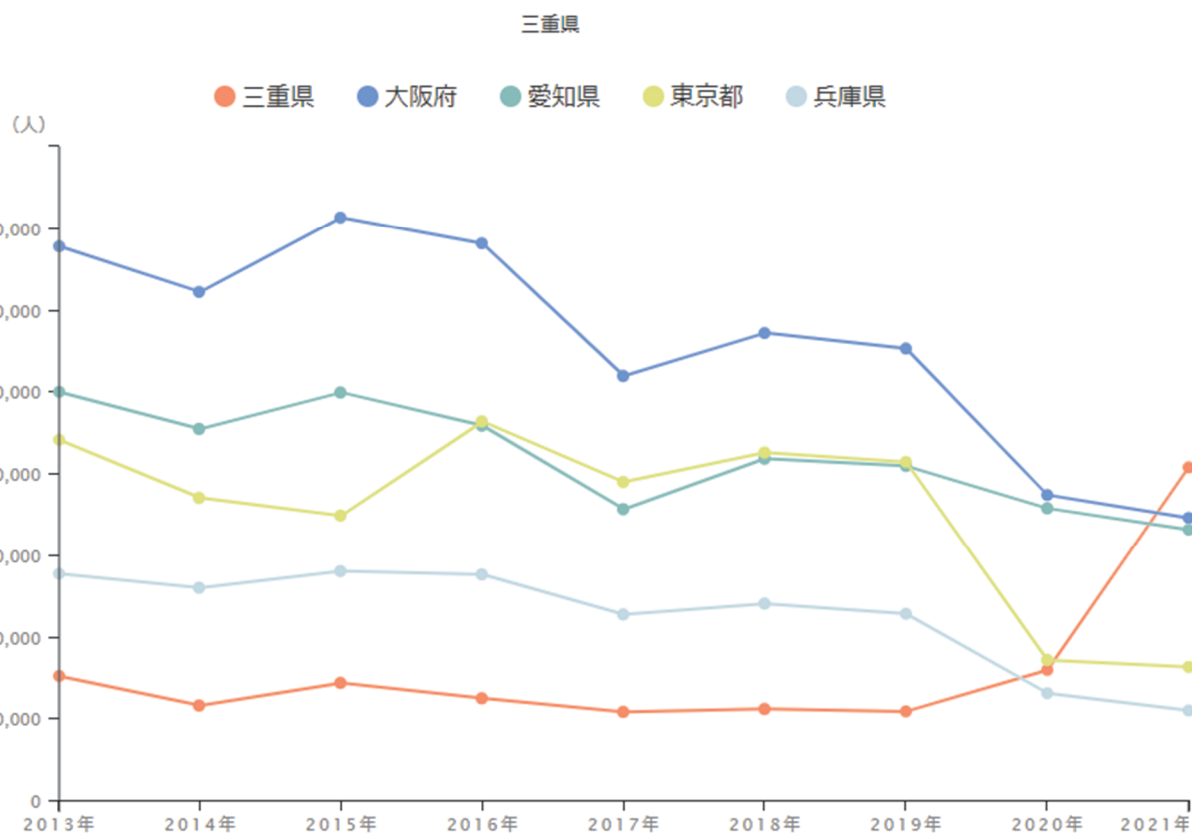
- ・本計画においては、三重県内の地域DMOをはじめとする各地域の取組を幅広く支援するため、対象区域を三重県内全29市町から構成される区域とする。

### 【観光客の実態等】



観光庁宿泊統計調査を基に作成

## 居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の推移



観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」

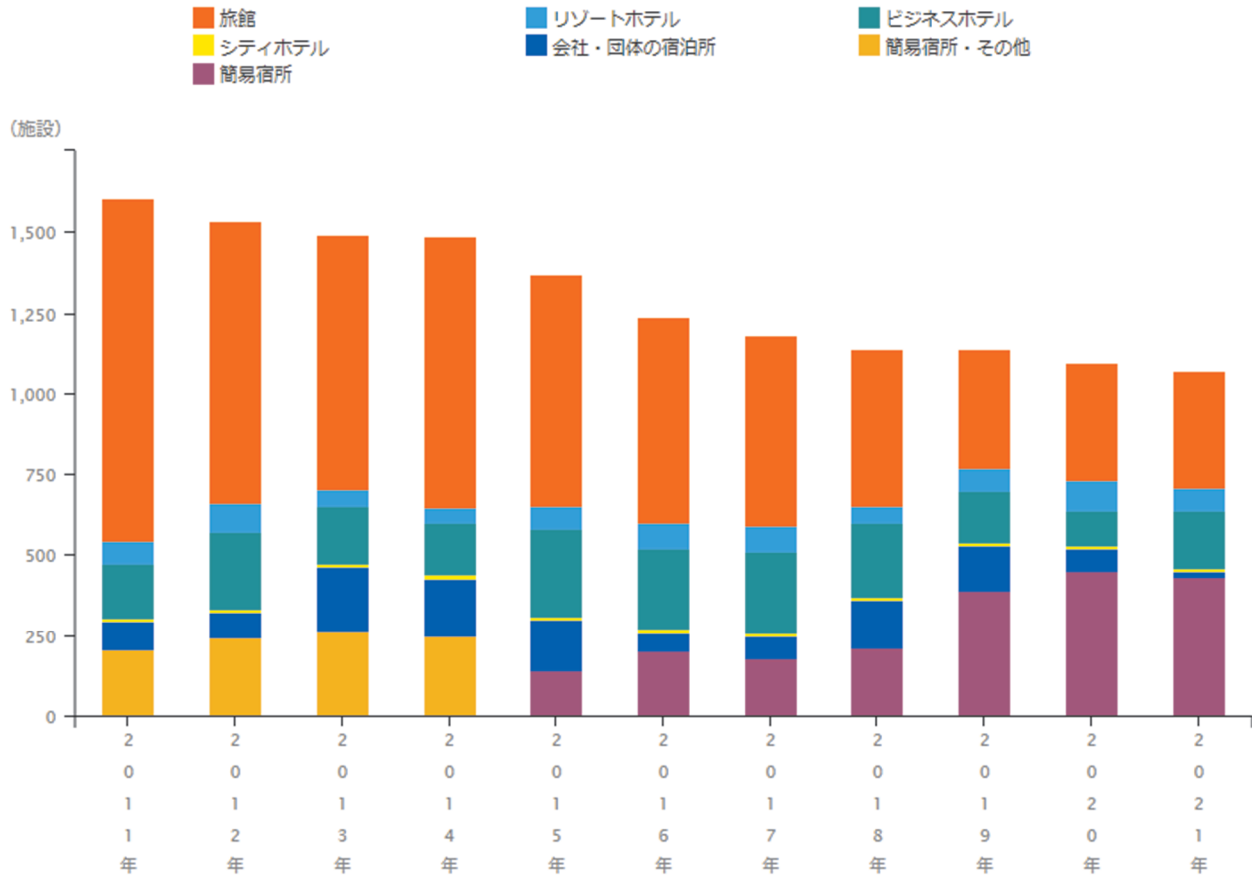
【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

- ・伊勢神宮、熊野古道、伊賀流忍者、海女、御在所岳などの豊富な歴史・文化・自然資産
- ・松阪牛、伊賀牛、熊野地鶏、伊勢エビ、あわび、はまぐり、牡蠣、伊勢茶などの豊富な食材
- ・伊勢型紙、松阪木綿、伊勢木綿、萬古焼などの伝統工芸
- ・ナガシマスパーランド、鈴鹿サーキット、志摩スペイン村、鳥羽水族館、VISONなどの日本有数のレジャー施設
- ・県内至る所で堪能できる種類豊富な温泉
- ・登山、サイクリング、ゴルフ、トレイルランニング、マラソン、スキーなどの雄大の自然を楽しむスポーツ・アクティビティ

【宿泊施設数の推移】

施設数の推移（宿泊施設タイプ別）

三重県



観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に RESAS によりグラフ作成

【利便性：区域までの交通、域内交通】



電車・飛行機でのアクセス

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>鉄道</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京から 名古屋まで (JR新幹線のぞみ) 約1時間40分</li> <li>広島から 新大阪まで (JR新幹線のぞみ) 約1時間30分</li> <li>博多から 新大阪まで (JR新幹線のぞみ) 約2時間30分</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>+ 伊勢まで (JR・近鉄特急) 約1時間20分</li> <li>+ 伊勢まで (JR・近鉄特急) 約2時間30分</li> <li>+ 伊勢まで (JR・近鉄特急) 約2時間30分</li> </ul> |
| <p><b>飛行機</b><br/>国内定期便</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>札幌(新千歳)空港から 中部国際空港へ 約1時間55分</li> <li>仙台空港から 中部国際空港へ 約1時間15分</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>東京(成田)空港から 中部国際空港へ 約1時間10分</li> <li>福岡空港から 中部国際空港へ 約1時間10分</li> </ul>                                   |

**海上**

中部国際空港

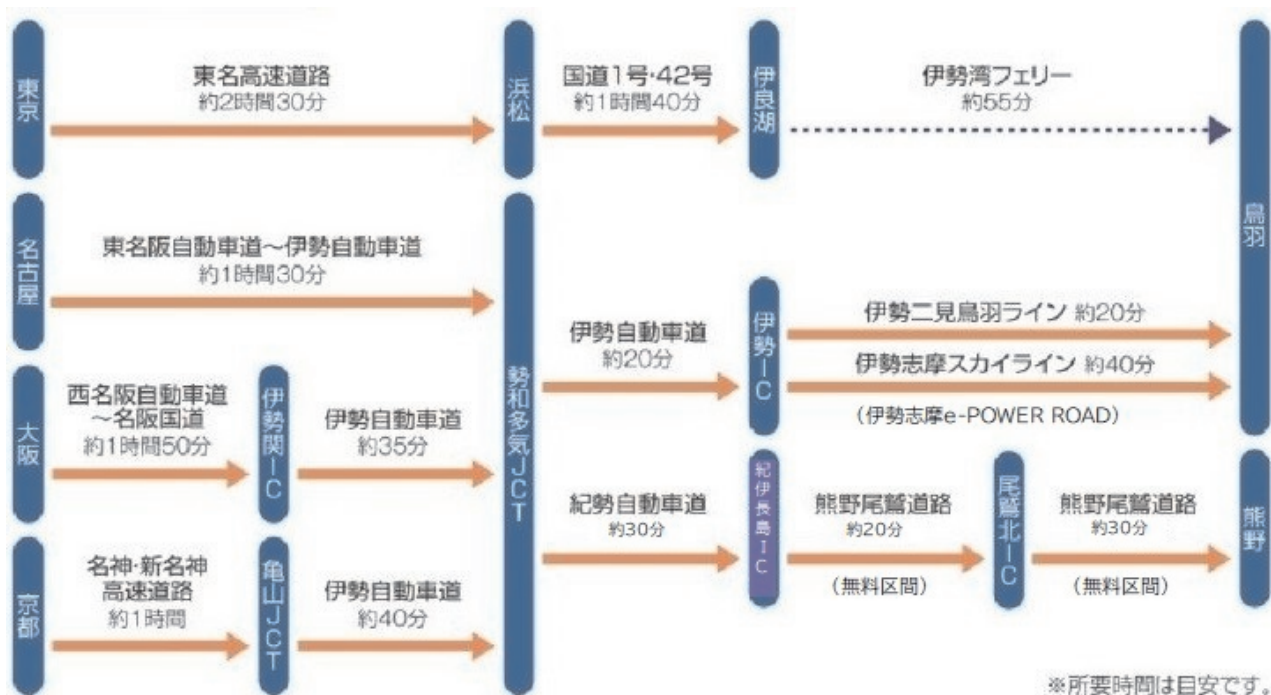
- 津エアポートライン(高速船) 2,520円 約45分
  - 津エアポートライン株式会社 059-213-4111
- 津駅 220円 約10分
  - 三重交通株式会社 中勢営業所 059-233-3501
- 津なぎさまち (神宮リムジンバス)
  - 伊勢市駅-伊勢神宮 1,600円 約75分
  - 三重交通株式会社 伊勢営業所 0596-25-7131

**バス**

中部国際空港

- 金蔵心頭駅 長島温泉 桑名駅前 運行休止中
- 三重交通株式会社 桑名営業所 0594-22-0595
- 四日市新正車庫 1,800円 約95分
  - 三重交通株式会社 四日市営業所 059-323-0808

## 車でのアクセス



### 【外国人観光客への対応】

- ・ホームページやパンフレットの多言語化
- ・Free-Wifiスポットの整備
- ・宿泊施設や観光施設等の案内標識等の多言語化
- ・外国人観光客対応の人材育成

(JNTO認定外国人観光案内所) (令和4年12月時点)

	北勢地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	伊賀地域	東紀州地域	計
カテゴリー3			1			1
カテゴリー2			3		1	4
カテゴリー1	2	3	2	3	1	11
パートナー施設	1	1		1	2	5
計	3	4	8	4	4	21

カテゴリー3 : 常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi-Fiあり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。

カテゴリー2 : 少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供。

カテゴリー1 : 常駐でなくとも何らかの方法で英語対応可能。地域の案内を提供。

パートナー施設 : 観光案内を専業としない施設であっても、外国人旅行者を積極的に受け入れる意欲があり、公平・中立な立場で地域の案内を提供。



### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行商品等購入者の顧客データ	旅行商品等を販売する県内事業者へ収集・分析データ提供し、効果的なマーケティングを提案する。	・県が構築した観光マーケティングプラットフォーム等を活用したデジタルマーケティングにより、購入者属性や販売情報を収集する。
Webサイトのアクセス解析データ	観光Webサイトへの流入数・経路、地域属性等を解析し、県内事業者へWebコンテンツの改善等を提案する。	・当連盟の公式サイト「観光三重」や、県内事業者が保有する観光Webサイト等のアクセス解析を一元的に実施する。
観光消費額、延べ宿泊者数	観光施策の立案・見直しの基礎資料として活用する。	観光庁「宿泊旅行統計調査」、三重県「観光客実態調査」等から収集する。
来訪者満足度、リピーター率、再来訪意向	観光施策の立案・見直しの基礎資料として活用する。	三重県「観光客実態調査」から収集する。

### 4. 戦略

#### (1) 地域における観光を取り巻く背景

三重県の観光産業は、平成28年時点で県内総生産の3%を超える産業として成長してきており、地域経済の活性化や雇用の増大等の経済的な効果が高い一方、人口減少等に伴い、観光産業の担い手不足も懸念されている。またICT技術の進歩により、データを活用したデジタルマーケティングが可能となった。

#### (2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<b>強み (Strengths)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外に誇れる豊富な食材</li> <li>・地域ごとに特色を持った豊かな歴史・自然・文化資産</li> <li>・テーマパーク、アウトレット、牧場等のレジャー施設の充実</li> <li>・ものづくり県としての多様な産業集積</li> </ul>	<b>弱み (Weaknesses)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊数の少なさ</li> <li>・観光客来訪地域の偏り</li> <li>・県南部地域における不利な地理的・経済的条件</li> <li>・インバウンドの受入体制が不十分</li> <li>・観光関連業の雇用環境の悪化</li> <li>・国内外からの宿泊者数の減少</li> </ul>
外部環境	<b>機会 (Opportunity)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年 新名神高速道路県内全区間開通</li> <li>・2021年 熊野尾鷲道路全線開通</li> <li>・2023年 G7交通大臣会合開催</li> <li>・2025年 大阪・関西万博</li> <li>・リニア中央新幹線開業(東京 名古屋 2027年、名古屋 大阪間 2037年)</li> </ul>	<b>脅威 (Threat)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風や集中豪雨などの風水害による影響の受けやすさ</li> <li>・南海トラフを震源域とする大規模地震の発生</li> <li>・世界経済に影響を受けやすい産業構造(主に製造業)</li> <li>・人口減少・少子高齢化による国内市場の縮小</li> </ul>

### (3) ターゲット

<p>第1ターゲット層 関西圏から訪れる観光客</p> <p>選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 関西圏（大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県）は、三重県への入込客数全体に占める割合が、県外では最多の26.1%であるとともに、入込客に占める宿泊客の割合も最多の46.6%となっている。（令和3年度三重県観光客実態調査報告書）</li><li>・ 当連盟の公式サイト「観光三重」のアクセス解析において、大阪からのアクセス数が県外では最も多く、三重県への関心が高い地域である。</li><li>・ 外国人観光客が三重県の滞在直前、滞在直後に滞在した地域として大阪府、京都府、和歌山県、奈良県は上位に入る。</li><li>・ 近鉄特急、東名阪自動車道、新名神高速道路等、関西圏からの交通アクセスが充実している。</li><li>・ 令和2年度からの三重県の観光施策において、中部及び関西圏という両圏域の結節点に位置する地理的特性を生かし、他府県や関係機関との連携を強化するとともに、大阪・関西万博等のビッグチャンスをつかんで、三重の食・観光をはじめとした多彩な魅力を発信している。</li></ul> <p>取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ Google アナリティクス、Google ビジネスプロフィールを活用したデジタルマーケティングや、県内事業者が保有する観光Webサイト等のアクセス解析の結果に基づき、ターゲット層に強く訴求するコンテンツの磨き上げや、時期・エリア・ターゲットを絞った効果的・効率的なプロモーション展開を行う。</li><li>・ 三重県の観光施策に併せた、効果的な誘客促進展開を行う。</li></ul>
<p>第2ターゲット層 関東圏から訪れる観光客</p> <p>選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 関東圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県）は、人口規模が関西圏、中京圏に比べて大きく、宿泊を伴う来訪を見込める地域である。</li><li>・ 2027年の東京-名古屋間のリニア中央新幹線開業に伴う首都圏からのアクセス改善等により、今後観光客の増加が期待される。</li><li>・ 当連盟の公式サイト「観光三重」のアクセス解析において、東京都からのアクセス数が県外では3番目に多く、三重県への関心が高い地域である。</li></ul> <p>取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 第1ターゲット層と同様</li></ul>
<p>第3ターゲット層 中京圏から訪れる観光客</p> <p>選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 中京圏（愛知県、岐阜県、静岡県）は、三重県への入込客数全体に占める割合が、関西圏に次ぐ24.8%であるとともに、入込客数に占める宿泊客の割合も関西圏に次ぐ30.8%となっている。（令和3年度三重県観光客実態調査報告書）</li><li>・ 当連盟の公式サイト「観光三重」のアクセス解析において、愛知県からのアクセス数が県外では2番目に多く、三重県への関心が高い地域である。</li><li>・ 外国人観光客が三重県の滞在直前、滞在直後に滞在した地域として愛知県は1位、岐阜県は上位に入る。</li><li>・ 三重県と同一圏内であり、交通アクセスが良好である。</li></ul> <p>取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 第1ターゲット層と同様</li></ul>

#### (4) 観光地域づくりのコンセプト

<p>コンセプト</p>	<p>世界の人びとを魅了する三重の観光</p>
<p>コンセプトの考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県は、国内外から注目され、知名度が飛躍的に向上した平成 28 年の伊勢志摩サミット、新名神高速道路の県内区間全線開通等、道路ネットワークの大幅な充実による三重県へのアクセス条件向上を契機に、大規模なイベント、戦略的なインバウンド誘致、国際会議等の M I C E 誘致、クルーズ客船誘致等に取り組んだ結果、平成 30 年には外国人延べ宿泊者数は平成 24 年の約 3.6 倍となる 34 万人となった。</li> <li>・令和になり、新たな集客施設や宿泊施設がオープンし、令和 3 年には熊野尾鷲道路が全線開通したことにより東紀州地域へのアクセスが向上した。令和 5 年度には志摩市で G7 交通大臣会合が開催され、令和 15 年には神宮式年遷宮を迎える。</li> <li>・上記の前提をふまえて、三重県の認知度を高め、来訪し観光消費を促すための取組を推進していく必要があり、そのためには、三重県が有する観光資源、立地環境等をふまえ、旅行者目線でブラッシュアップさせた観光誘客の推進に取り組んでいく必要がある。</li> <li>・三重には、日本人の文化聖地とも言える文化・伝統、伊勢志摩国立公園をはじめとする美しい自然、世界の人びとを惹きつける豊かな食、その魅力を引き出す人びとの知恵と技術等、世界の人びとを魅了するポテンシャルの高い資源が多くあり、こうした「三重ならではの価値」を生かし、「三重に行かなければ味わうことのできない」新たな価値 = ブランドを旅行者の目線もふまえ、三重県内各地域で創設されている地域 D M O 等観光地域づくりを行う団体・事業者との連携による、オール三重で創造するとともに、それぞれの旅行者に合わせた情報を提供していくことで旅行者が真の意味で三重の観光を楽しみ、その情報を旅行者目線で拡散していただく、客が客を呼ぶ好循環の確立につなげていく。</li> <li>・そのために、科学的アプローチに基づいた各地域の取組の支援、観光マーケットの特性を踏まえた戦略的なプロモーション等を展開する。</li> </ul>

## 5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
<p>戦略の多様な関係者との共有 頻度が分かるよう記入すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全県域を担うDMO（当連盟）を中心として、総会（年1回） 理事会（年3回） 地域懇談会（年1回） 県内DMO会議（年1回）等の場で三重県内地域DMOや観光関連事業者を集めてコミュニケーションを図ることで、戦略の共有を実施する。</li> <li>・三重県の観光戦略とDMOの戦略を共有し、一体となって三重県全体の観光地域づくりを推進していくため、必須KPIを三重県の「観光振興基本計画」の目標数値に合わせて設定する。</li> <li>・県内地域DMOや地域の観光関連事業者に対し、デジタルマーケティング、Web アクセス解析、公式サイト「観光三重」を活用したプロモーション等の業務支援を通じて戦略の共有を行う。</li> <li>・地方銀行等のネットワークを活用することで、多様な関係者と戦略を共有する。</li> </ul>
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客満足度の高いサービスを提供できる観光関連産業の育成を目指し、民間事業者と連携した地域のリーダー人材や専門人材を育成する人材育成研修会の開催やOJT、地域DMOや観光関連事業者への訪問による意見交換により、サービスの維持・向上・評価を実施する。</li> <li>・県が実施している「観光客実態調査」により、県全体の来訪者満足度やリピーター率、再来訪意向を把握し、観光客に提供するサービスを評価する。</li> <li>・Google ビジネスプロフィールを活用した満足度の把握、改善の仕組みを構築する。</li> <li>・観光庁等が提供する観光人材育成プログラムを活用するとともに、総会後に研修会を開き、意識の醸成や知識の向上を図る。</li> </ul>
<p>観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県全域の観光情報発信・プロモーションについては、三重県観光局の施策と連携しつつ、県内の自治体・観光協会・観光事業者等の観光情報を取りまとめ、公式サイト「観光三重」・季刊紙「観光三重」・公式 SNS 等を活用して一元的に情報発信を行う。</li> <li>・当連盟の強みであるサイトのドメイン力及び戦略的なデジタルマーケティングを生かしながら、インフルエンサーの活用など新しい切り口で三重県にあるあまり知られていないシーズ（観光資源）や既存の観光資源を発信していくことでニーズ化することをめざす。</li> <li>・インバウンドプロモーションについて、多言語サイトを充実し、多言語での観光 Web プラットフォームを構築する。</li> </ul>

各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

## 6. KPI (実績・目標)

戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

### (1) 必須KPI

指標項目		2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2023 (R6) 年度
旅行消費額 (億円)	目標	5,000 ( )	5,700 ( )	3,985 ( )	5,970 ( )	6,000 ( )	6,000 ( )
	実績	5,564 ( )	3,283 ( )	3,562 ( )	4,269 ( )		
延べ宿泊者数 (万人)	目標	1,000 (45)	910 (45)	600 (7)	940 (50)	950 ( )	950 ( )
	実績	860 (39)	508 (7)	518 (2)	695 (5)		
来訪者満足度 (%)	目標	25.5 ( )	26.0 ( )	95.0 ( )	95.0 ( )	95.0 ( )	95.0 ( )
	実績	38.5 ( )	36.2 ( )	93.5 ( )	94.4 ( )		
リピーター率 (%)	目標	88.0 ( )	88.5 ( )	88.5 ( )	89.0 ( )	89.0 ( )	89.0 ( )
	実績	88.8 ( )	89.1 ( )	91.9 ( )	90.5 ( )		

括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

1: 暦年(1月~12月)のデータ

2: 来訪者満足度は、三重県「観光客実態調査」の「総合満足度」の項目における「大変満足」の数値をKPI指標とする。

3: リピーター率は、三重県「観光客実態調査」の「来訪回数」の項目における「宿泊客の来訪回数が2回目以上」の数値をKPI指標とする。

## 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

### 【検討の経緯】

- ・三重県観光振興基本計画（R2～5）を基に、三重県と一体となった取組を行う。

### 【設定にあたっての考え方】

#### 旅行消費額

##### （数値設定の考え方）

- ・令和5年度までに、基準年となる平成30年度より12%以上増加させ、6,000億円以上を目指す。具体的には、伊勢志摩サミット開催等を契機とした、三重県の強みである「食」等の取組や、地域DMO等の取組の支援により旅行者に占める宿泊者の割合を高め、662億円の消費増につなげる。
- ・また、三重県の重点国・地域である東アジア・東南アジア等からの誘客の取組に加え、新たにFIT、特に富裕層への観光誘客活動に取り組むことで、令和5年に、外国人宿泊者数を平成30年の34万人から倍増の68万人とすることで、外国人宿泊者の旅行消費額の増を図る。

#### 延べ宿泊者数

##### （数値設定の考え方）＜国内延べ宿泊者数＞

- ・国内誘客については、伊勢志摩サミット開催等を契機に、三重県の強みである「食」等の取組や、地域DMO等の取組の支援により旅行者の周遊性、滞在性を高めることでの日本人旅行者の日帰りから宿泊への移行を図る。
- ・海外誘客については重点国・地域である東アジア・東南アジア等からの誘客の取組に加え、新たにFIT、特に富裕層への観光誘客活動に取り組む。
- ・具体的な数値目標として、令和5年度までに日本人旅行者26万人の増に加え、外国人旅行者の増を34万人とすることで、基準年となる平成30年度より60万人増加した950万人の延べ宿泊者数を目指す。

##### （項目設定の考え方）＜外国人延べ宿泊者数＞

- ・三重県を訪れた訪日外国人旅行者を把握し、効果的な施策立案につなげる指標として設定。

##### （数値設定の考え方）＜外国人延べ宿泊者数＞

- ・東アジア・東南アジア諸国を中心とした重点国・地域へのプロモーションに加え、欧米市場、富裕層や、FITの取り込みをはかることで、令和5年度までに、基準年となる平成30年度から倍増の68万人の延べ宿泊者数を目指す。
- ・平成27年度から数字が下がり続けており、かなり厳しい状況。平成30年度はプロモーションにおいて、ターゲットエリア（欧米、アジアなど）ごとに効果的な手法が異なるため、画一的なものでなく、それぞれに応じた施策の展開を予定している。限られた予算の中で、最大限効果が見込めるものに集中投資し、宿泊者数を増加させられるよう県と一丸となり、取組を進める。
- ・インバウンドプロモーションについては、英語、繁体字、簡体字、韓国語、タイ語、スペイン語のWebプラットフォームを構築した。令和3年度からは、多言語での体験アクティビティのコンテンツをさらに充実させるとともに、webサイトに呼び込むための施策を目指す。

#### 来訪者満足度

##### （数値設定の考え方）

- ・観光の魅力づくり・人づくり、地域DMO等の取組の支援等の総合的な取組を通じて平成30年度の総合満足度「大変満足」「満足」「やや満足」の割合を上昇させ、令和5年度までに95.0%を目指す。

- リピーター率  
 (数値設定の考え方)
- ・観光の魅力づくり・人づくり、地域 DMO 等の取組の支援等の総合的な取組を通じて平成 30 年度の宿泊客のリピーター率 92.7% に近づけることを目標とする。
  - ・新型コロナウイルス感染拡大による移動制限に伴い、落ち込んでしまったリピート率を令和 5 年度までに 89.0% まで回復させることを目指す。

## (2) その他の目標

指標項目		2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
再来訪意向 (%)	目標	43.0 ( )	43.5 ( )	42.0 ( )	43.5 ( )	45.0 ( )	45.0 ( )
	実績	39.2 ( )	37.0 ( )	36.6 ( )	44.4 ( )	( )	( )
地域 DMO 等事業者支援件数 (件)	目標	30 ( )	35 ( )	37 ( )	38 ( )	40 ( )	40 ( )
	実績	30 ( )	37 ( )	40 ( )	42 ( )	( )	( )
公式サイトアクセス (万回)	目標	1,840 ( )	1,860 ( )	2,000 ( )	2,100 ( )	2,100 ( )	2,100 ( )
	実績	1,968 (30)	2,081 (18)	2,377 (19)	2,690 ( )	( )	( )
SNSファン 数(人)	目標	70,000 ( )	130,000 ( )	168,000 ( )	206,000 ( )	206,000 ( )	206,000 ( )
	実績	88,133 ( )	144,972 ( )	200,077 ( )	222,600 ( )	( )	( )

括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値  
 各指標項目の単位を記入すること。

## 指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

### 【検討の経緯】

- ・三重県観光振興基本計画（R2～5）を基に、三重県と一体となった取組を行うとともに、地域DMO等観光地域づくりを行う団体・事業者を支援する。

### 【設定にあたっての考え方】

#### 再来訪意向

##### （項目設定の考え方）

- ・「来訪者満足度」 - 「再来訪意向」 - 「リピーター率」の相互比較・分析により効果的な施策立案につなげる指標として設定。

##### （数値設定の考え方）

- ・観光の魅力づくり・人づくり、地域DMO等の取組の支援等の総合的な取組を通じて平成26年度の再来訪意向「大変そう思う」から毎年1%上昇させ、令和5年度までに45.0%を目指す。

#### 地域DMO等事業者支援件数

##### （項目設定の考え方）

- ・三重県内の地域DMOや観光事業者に対して、デジタルマーケティング、Webサイトアクセス解析、広域プロモーション等を実施した実績を把握し、地域との一体的な観光地域づくりの成果を把握する指標として設定。

##### （数値設定の考え方）

- ・平成30年度の事業実績を基に、支援件数の拡大を目指す。

#### 公式サイトアクセス数（PV）

##### （項目設定の考え方）

- ・三重県の観光に対する関心度合いを把握し、公式サイトを活用したプロモーションの成果を測るとともに、地域DMO等に活用していただく効果的なメディアとしての価値を測る指標として設定。

##### （数値設定の考え方）

- ・令和4年度については、サイトの全面改修を行い、リニューアルを実施した。ユーザビリティを高め、ニーズをとらえた情報発信を行った結果、PV数の大幅な増を達成した。令和5年度においては、R4年度実績が目標値以上であったことから、結果的にR4年度実績を下回る2500万となっているが、引き続き、現状の強みを生かしつつ、ユーザー目線に立った情報発信を行う。

#### SNSファン数

##### （項目設定の考え方）

- ・国内でも有数のファン数を誇るSNSを活かし、公式サイトへの誘導をはかる。

##### （数値設定の考え方）

- ・短尺動画の活用など、若年層向への訴求力を高めつつ、ファン数を維持していく。



## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

### (1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳
2019(R1) 年度	95,995,000(円)	【県からの補助金】 8,500,000円 【県からの受託収益】 27,151,000円 【会費収入】 38,765,000円 【事業収入等】 21,579,000円
2020(R2) 年度	103,127,000(円)	【県からの補助金】 8,500,000円 【県からの受託収益】 40,130,000円 【会費収入】 33,675,000円 【事業収入等】 20,822,000円
2021(R3) 年度	118,732,000(円)	【県からの補助金】 8,500,000円 【県からの受託収益】 50,495,000円 【会費収入】 33,800,000円 【事業収入等】 25,937,000円
2022(R4) 年度	158,722,924(円)	【県からの補助金】 18,500,000円 【県からの受託収益】 55,798,292円 【会費収入】 34,038,280円 【事業収入等】 45,523,284円
2023(R5) 年度	120,000,000(円)	【県からの補助金】 8,500,000円 【県からの受託収益】 40,000,000円 【会費収入】 40,500,000円 【事業収入等】 31,000,000円
2024(R6) 年度	120,000,000(円)	【県からの補助金】 8,500,000円 【県からの受託収益】 40,000,000円 【会費収入】 40,500,000円 【事業収入等】 31,000,000円

### (2) 支出

年(年度)	総支出	内訳
2019(R1) 年度	95,430,000(円)	【一般管理費】 10,881,000円 【国内プロモーション】 71,236,000円 【海外プロモーション】 13,312,000円
2020(R2) 年度	103,754,000(円)	【一般管理費】 11,507,000円 【国内プロモーション】 85,802,000円 【海外プロモーション】 12,226,000円
2021(R3) 年度	113,732,000(円)	【一般管理費】 11,058,000円 【国内プロモーション】 86,640,000円 【海外プロモーション】 16,034,000円
2022(R4) 年度	143,417,400(円)	【一般管理費】 11,402,654円 【国内プロモーション】 117,581,905円 【海外プロモーション】 14,432,841円
2023(R5) 年度	120,000,000(円)	【一般管理費】 12,000,000円 【国内プロモーション】 96,000,000円 【海外プロモーション】 12,000,000円
2023(R6) 年度	120,000,000(円)	【一般管理費】 11,500,000円 【国内プロモーション】 96,000,000円 【海外プロモーション】 12,000,000円

### (3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ・デジタルマーケティング、Web サイトアクセス解析に基づいた、プロモーションメディアによる広告掲載料収入の増加
- ・「観光三重」公式サイト閲覧者に対するWeb 広告実施による収入の増加
- ・新たな会員の増加による会費収入増額
- ・Web プラットフォームでの予約・販売による手数料収入
- ・県・市町からの補助金・事業受託
- ・市町や観光関係事業者に営業し、受託広告事業をさらに拡大させる。
- ・県と DMO の在り方について議論し、DMO として公的な関与が必要な部分について補助金を引き続き継続的に受けられるよう、働きかけを行っていく。

### 8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

三重県は、公益社団法人三重県観光連盟を三重県における地域連携 DMO として登録したいので、公益社団法人三重県観光連盟とともに申請します。

### 9. マーケティング・マネジメント対象区域が他の地域連携 DMO や地域 DMO と重複する場合の役割分担について（重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携 DMO や地域 DMO との間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

エリアが重複する公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構及び一般社団法人東紀州地域振興公社については、日常的に情報交換を行っている。

【区域が重複する背景】

伊勢志摩地域や東紀州地域は観光産業が集積している地域であり、観光地として県外にも名を知られているため、行政の区域を超えた伊勢志摩地域のまとまりでスケールメリットを活かした事業展開をしていくことが有利であるため、区域が重複する。

【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】

三重県観光連盟は、高度な情報発信力を活かしたプロモーションを中心に行い、伊勢志摩観光コンベンション機構及び東紀州地域振興公社は、地域の人的ネットワークを活用した営業（誘致）、地域連携を行う。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

三重県観光連盟は、全県的に幅広く対応し、観光産業が集積している伊勢志摩地域及び東紀州地域については、伊勢志摩観光コンベンション機構及び東紀州地域振興公社が深く対応することで、三重県全体の観光振興を効率的に行うことができる。

## 10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	金丸 幸穂
担当部署名(役職)	マネジメント・DMO チーム(事務局次長)
郵便番号	514-0009
所在地	三重県津市羽所町700 アスト津2F
電話番号(直通)	059-224-5904
FAX番号	059-224-5905
E-mail	kanamaru@kankomie.or.jp

## 11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	三重県
担当者氏名	藤野 和輝
担当部署名(役職)	観光部観光振興課(主事)
郵便番号	514-8570
所在地	三重県津市広明町13番地
電話番号(直通)	059-224-3116
FAX番号	059-224-2801
E-mail	fujink02@pref.mie.lg.jp

記入日：令和5年 7月26日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】 三重県全域(29市町)  
 【設立時期】 昭和25年6月26日  
 【設立経緯】戦前からあった三重県観光協会を発展的解体、三重県観光連盟(任意団体)が誕生  
 【代表者】 会長 竹谷 賢一  
 【マーケティング責任者(CMO)】 金丸 幸穂  
 【財務責任者(CFO)】 西村 恵子  
 【職員数】 9人(常勤9人(正職員2人、出向等6人)、非常勤1人)  
 【主な収入】会費収入 34百万円、事業収入 45百万円(R4決算)  
 【総支出】管理費 11百万、事業費 131百万  
 【連携する主な事業者】  
 県内市町観光協会、近畿日本鉄道、JR東海、JR西日本、三重交通等の県内交通事業者、県内観光施設、県内宿泊施設、県内旅行会社、県内外メディア

KPI(実績・目標)

( )内は外国人に関するもの。

項目		2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2023 (R6) 年度
旅行消費額 (百万円)	目標	5,000 ( )	5,700 ( )	3,985 ( )	5,970 ( )	6,000 ( )	6,000 ( )
	実績	5,564 ( )	3,823 ( )	3,562 ( )	4,269 ( )	( )	( )
延べ宿泊者数 (千人)	目標	1,000 (45)	910 (45)	600 (7)	940 (5)	950 (59)	950 (59)
	実績	860 (39)	508 (7)	505 (2)	695 (5)	( )	( )
来訪者満足度 (%)	目標	25.5 ( )	26.0 ( )	95.0 ( )	95.0 ( )	95.0 ( )	95.0 ( )
	実績	38.5 ( )	36.2 ( )	93.5 ( )	94.4 ( )	( )	( )
リピーター率 (%)	目標	88.0 ( )	88.5 ( )	88.5 ( )	89.0 ( )	89.0 ( )	89.0 ( )
	実績	88.8 ( )	89.1 ( )	91.9 ( )	90.5 ( )	( )	( )

戦略

【主なターゲット】  
 国内：関西圏、関東圏、中京圏から訪れる観光客  
 インバウンド：消費単価の高い富裕層  
 【ターゲットの誘客に向けた取組方針】  
 インターネット広告を活用したデジタルマーケティングや、県内事業者が保有する観光Webサイト等のアクセス解析の結果に基づき、ターゲット層に強く訴求するコンテンツの磨き上げや、時期・エリア・ターゲットを絞った効果的・効率的なプロモーション展開を行う。  
 また、インバウンドにおいて高いリピーター率を維持するため、リピーターの満足度を高める取組を行う  
 【観光地域づくりのコンセプト】  
 世界の人びとを魅了する三重の観光

具体的な取組

【情報発信・プロモーション】  
 ・観光情報提供事業(「観光三重」公式サイトを通じた情報発信(R4年度:2,690万PV))  
 季刊誌発行(R4年度81万部)  
 【観光資源の磨き上げ】  
 世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業を活用し、デジタルマーケティングの導入を推進。(令和4年度)  
 【受入環境の整備】  
 三重県観光連盟公式サイト上に多言語サイトを整備(英語、繁体字、簡体字、韓国語、タイ語、スペイン語で運用)

